

平成25年5月26日  
今週のベストショット



雁レク11 ソルトベイスターズ 対 レッドサンデーズ戦

終盤の逆転勝利を呼び込んだ3本のHR！左から中村健一選手、酒井哲朗選手、鶴野巧選手。

写真：塩浜ジャガーズ 松下照夫

雁レク10 ライナーズ鳥越投手の10奪三振で初戦を白星で飾る！！

ブルーマーリンズ（2敗）10000 1 綱脇●ー尾田

雁ノ巣ライナーズ（1勝）15221× 11 鳥越○ー明瀬（旭）

HR：久保田（雁ノ巣） 2BH：中口（雁ノ巣）

盗塁：有馬（2）中口、池内、木戸（雁ノ巣）友重（ブルー）

一回表ブルーマーリンズは、ライナーズ鳥越投手の制球が定まらずに四球やWPにより無安打で1点を先制した。反撃したいライナーズはその裏、一死一二塁から宇野選手の適時打で同点にしていりズムを作ると、二回からは鳥越投手が本来のピッチングを取り戻すとともに、明瀬（旭）捕手の投手の気分を乗せる声出しと好リードで二・三回と6連続三振、さらにそのあとも五回までの6アウトのうち4三振と、合計10奪三振という圧巻のピッチングでブルーマーリンズ打線を沈黙させた。鳥越投手の好投により、いい流れになったライナーズは、二回裏には守備の乱れと強打者久保田選手の3ラン等で一挙5点をあげると、その後は完全に試合の流れをつかみ毎回得点を重ね、結果は11対1でライナーズの快勝となり良いシーズンの幕開けとなった。

（記事、写真：三苦ホーネッツ 永島貴文）



二回裏 タッチを掻い潜り逆転！ライナーズ有馬選手。



二回裏 中翼越え3ランを放ったライナーズ久保田選手。



10奪三振の好投！ライナーズ鳥越投手。



好リードで狙い球を絞らせないライナーズ明瀬旭捕手。

### 雁レク11 ソルトベイスターズ鮮やかに終盤の3HRで逆転勝ち！

ソルトベイスターズ（1勝1分）30042 9 中村（祐）、鶴野○-酒井

レッドサンデーズ（0勝2敗）40200 6 土師●-前田

HR：中村（健）、鶴野、酒井（ソルト） 嶋村（レッド） 2BH：八島、神田、稲又（レッド）

盗塁：中村（健）4、八柄、坂田（ソルト）

先攻のソルトベイスターズは一回表、先頭の中村（健）選手が内野安打で出塁すると、すかさず二盗、三盗を決めると相手守備の乱れに乗じて1安打で3点を先取る絶好の立ち上がりを見せる。一方レッドサンデーズは、その裏先頭の吉岐選手が遊撃内野安打で出塁すると三番嶋村選手の2点本塁打で反撃開始。その後も四球をからめ3安打で2点を追加し逆転に成功する。勢いに乗るレッドは三回にも八島選手の二塁打を基点に2点を追加し、完全に試合の主導権を握った。しかしソルトベイスターズも先発中村（祐）選手から鶴野選手へと継投し、以降の追加点を阻む。やや重苦しい雰囲気は漂い始めたソルトベイスターズベンチであったが、四回一番中村（健）選手が出塁すると、すかさずこの試合4個目の盗塁を決め、二番八柄選手の内野安打で生還する足攻めで追撃。その後は三番鶴野選手、五番酒井選手が本塁打を放ち、硬軟合わせた見事な攻撃で逆転。更に五回には中村（健）選手の2点本塁打でこの試合を決定づけた。内野安打、振り逃げ、敵失で出塁し4盗塁、最後は本塁打で締めた中村（健）選手をはじめ、ソルトベイスターズ打線の勝負強さが印象的な試合となった。

（記事：塩浜ジャガーズ 高嶺信彦、写真：松下照夫）



一回裏、同点の八島選手を迎えるレッドベンチ。



ピンチでマウンドに向かうソルト石井監督。





四回表、内野安打を放つソルト八柄選手。



四回表、ソルト八柄選手のスチール。



2安打1HR4盗塁の中村健一選手(左)、好リードと逆転HRの酒井哲朗選手(中)、好リリーフと同点3ランの鶴野巧選手(右)。

### 青松園A 投手戦を制し、パイレーツが開幕2連勝を飾る！

新町ウインズ (2敗) 0 1 0 0 0 0 1 藤田●-今林

新町パイレーツ (2勝) 0 0 0 3 0 X 3 吉田○-大濱

2BH: 白浜(新町パ)、野中(新町ウ)

試合は二回、ウインズ六番野中選手が左中間への二塁打で1点を先取する。両チーム好投手の先発で試合は投手戦となった。しかし四回裏に試合が動く。パイレーツは相手守備の乱れ等から、三番白岩選手がライト線上にしぶとく落ちる二塁打などで満塁とすると、七番石橋選手の内野ゴロが一塁への悪送球となる間に2点を奪うなど3-1と逆転に成功。このままでは終われないウインズは六回、四番城戸選手、五番藤田選手、六番野中選手の三連続ヒットで無死満塁というビッグチャンスを作る。ここでウインズは代打攻勢を仕掛けるも後続が続かずこの試合最大のチャンスを生かせず無得点で試合終了となった。ウインズ先発藤田は二回の3者連続を含む毎回の9奪三振を奪う好投だったものの、勝利には結びつかなかった。1つの守備の乱れが試合の明暗を分けることとなった。(記事、写真: 奈多サンデーズ 鳥羽晃弘)





暑い試合前の両チーム整列。



粘り強く投げ抜いたパイレーツ先発の吉田投手。



久しぶりに登板となるウインズ藤田投手。



二回裏、先制2塁打 ウインズ六番野中選手。



先制のホームを踏むウインズ藤田投手。



四回表、パイレーツ三番白岩選手の同点タイムリー。



同点のホームを踏むパイレーツ升井選手。



## 青松園B 代打で登場！三友クラブ初田選手が試合を決めた！！

三苦フレンズ（2敗）20020 4 山口●—佐藤

三友クラブ（1勝）02210 5 足立○—柿崎

3BH：御手洗（三苦フ） 盗塁：山口（三苦フ）

一回表三苦フレンズは、ライト前ヒットを打った生野選手がパスボールで二塁に進み、四死球などでチャンスを作ると、四番山口選手の一塁フライの間に三塁ランナー生野選手が好走塁でホームに生還し先制点。尚も1点を追加し初回から2点を先制。しかし二回裏に三友クラブの反撃。フレンズの失策で出塁した四番柿崎選手に続き、六番山本選手のセンター前で一死一三塁のチャンスを作ると、相手守備のミスなどで早速2点を取り返す。三回裏三友クラブは、二番大坪選手のセンター前ヒットから後続も続き一死満塁とすると、山本選手のレフト前ヒットなどで2点を追加。四回表追いつきたい三苦フレンズは、六番寺山選手が四球で出塁すると、七番御手洗選手が左中間三塁打を放ち1点を取り返す。尚も九番阿久井選手のライト前で1点を追加し同点とした。流れは三苦フレンズに傾いたと思われたが、四回裏三友クラブは、代打の森野選手がセンター前ヒットで出塁し、後続もヒットなどでチャンスを広げると、ここで代打の初田選手が登場！見事値千金のライト前ヒットを放ち1点を勝ち越した。そして足達投手が五回を抑え試合終了となった。手に汗握る緊迫した好試合だった。

（記事、写真：奈多フェニックス 西藤圭介）



緊迫した試合を制した三友クラブ足達投手。



今後の活躍に期待のフレンズ山口投手。



走攻守と三拍子揃うフレンズ生野選手。



四回表、三塁打を打ち喜びを分かち合うフレンズ御手洗選手とチームメイト。



二安打と活躍した三友クラブ山本選手。



四回裏、試合を決定づけた三友クラブ初田選手。

### 第3週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

5月26日は快晴の中4試合が行われました。

雁レク10のブルーマーリンズ対雁ノ巣ライナーズ戦は、先制を許したものの、持ち前の打力で毎回得点を重ねたライナーズが1-11の勝利。鳥越投手(20歳)の10奪三振は見事！昨年の首位打者中口選手(21歳)も好調です。3安打1HRの久保田選手(44歳)の活躍も光りますね。

雁レク11のソルトベイスターズ対レッドサンデーズ戦は、初回先頭の中村健一選手(29歳)の内野安打を足掛かりに、相手エラー等で3点を先取し勢いに乗るかと思われたが、その裏ソルト先発中村祐人選手(36歳)が乱調で、レッド嶋村選手(24歳)の2ランを含む5安打を集中され4点を失う。さらにレッドは三回裏にも相手守備の隙をついた八島選手(39歳)の二塁打から2点を挙げ3-6としたが、ソルトは終盤疲れの見たレッド先発土師投手(40歳)から鶴野選手(38歳)が同点3ラン、酒井選手(29歳)が逆転ソロ、中村健一選手がダメ押し2ランを放ち、9-6と見事な逆転勝利。昨年盗塁王の中村健一選手は4盗塁1HRと足と打力を見せつけた。

青松園Aの新町パイレーツ対新町ウインズ戦は、四回一死までパーフェクトなウインズ藤田投手(30歳)がエラーをきっかけに、ずるずると3失点。一方昨年の最多勝パイレーツ吉田投手(36歳)は1点を失うものの、最終回の無死満塁のピンチも無失点で切り抜け、息詰まる投手戦を制した。やはり守備力の差か？

青松園Bの三苦フレンズ対三友クラブ戦は、初回三友クラブ先発の足立投手(42歳)から満塁のチャンスを作ってフレンズ生野拓磨選手(20歳)の好走塁などで2点先制するも二回、三回裏に三友クラブが2点ずつ取って逆転。しかし四回表にフレンズ御手洗選手(41歳)、阿久井選手(36歳)のタイムリーで同点にするも、五回表に代打攻勢に出た三友クラブが、代打初田選手(37歳)の値千金のタイムリーでシーソーゲームを見事制した。

昨年の最下位から3チームが早くも2敗を喫し、どこが抜け出せるのか？それとも今年も定位置に沈むのか？今年のWSLをかき乱す存在としての活躍を期待します。